



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆のお話を聞いて今、私たちが送っている生活、日常がどれだけ便利で安全なものかということを改めて感じることが出来てとても勉強になりました。そして、人間が太陽よりも熱い、7000°Cの熱をあびると考えると、とても恐いものだなと思いました。

そして、一番最後の資料の広島原爆の死者数の14万人、その中の約2万人が一瞬で亡くなつたと聞き、今では、考えられないことなので、とても驚きました。

それから、本のお話を聞いている時に先生が「パン」と言、大瞬間に実際に原子爆弾が落ちてきた時の様子が頭にうかんてきて、鳥肌が立ち、とてもソッとしたしました。

そして、もう何年も前なのに、未だに自分の家に帰ることの出来ない人が多勢いるということ、放射線で亡くなってしまう人がいるということを知り、放射線の恐怖や人に及ぼす影響などについて、改めて感じたし、今この時代に生きているから知らないことなどをたくさん知ることが出来たので、これを次の世代へ継いでいく。もう二度とこのような戦争がおきないように、あくまでもないようにしていかるために自分たちに出来ることを少しでもいいから、やって、今の戦争が止む平和な日本をもっていけたら良いなと、今日の授業を聞いて思いました。



じゅこう 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私が受講して感じた事は、ネットなどで原爆の事について調べると、広島平和記念資料館の写真がたくさんでてきますが、それでもキレイすぎると、実体験者の方がおしゃっていふといふ事よりも悲惨な事だったんだどうと思します。ですが、想像もできません。

原爆の効果は、いや、1回では無く何回も何回もあるといふのを改めて聞いて、助かたりは本当にすごいと思いました。ですが、想像できない程の痛みや、後遺症に悩まされたのではない、かと思いました。

原子爆弾の温度を初めて知り、 1000°C くらいのかと思っていたら、その何倍もの温度で、ものすごく驚きました。爆弾の中への部分で $100\text{万}^{\circ}\text{C}$ で、表面の温度では 7000°C と信じられないくらいの温度が高く、それに、太陽の表面温度より 10000°C も高くて、本当に怖いです。

今日は、貴重なお話をありがとうございました。
今日の話を真剣にうりとめて、生活していきます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、お忙しい中私達のために時間をさいてくださりありがとうございました。

私は、この特別授業を受講して、分かったことは戦争のおそろしさです。話を聞いていたとき、自分が思ってたよりも、被爆した人達のすがたがひどくて、おどろきました。

原子爆弾を放すのに地形がかかわっていることを初めて知りました。

100万℃の熱があつかったときいたとき、すごいおどろきました。太陽よりも、すごくあつくて想像するだけで熱くなりました。

私は、今日のお話を聞き、広島の原爆資料館に行つてみたくなりました。

あと、エラ・ゲイという和前か、ナベットたいさの方母さんの和前下、下といふことを初めてしり、おどろきました。

爆撃機に自分のお母さんの和前をつけるんだ、と私は、思いました。

核爆弾と原子爆弾が同じことでも初めて知りました。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

初めて知ることはかりで、とても、いい時間になりました。
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

本日は、お忙しいなか来ていただき
ありがとうございます。原爆先生の
授業で一番印象に残っていることは
1つは、本当は他にも候補があって
京都を一番推して、しかし理由が
あって京都でなくなったこと。2つ目は、
兵隊の人は、助けてくても助けねば
時がありすごく辛い思いをしたこと。
3つ目は、なぜ広島と長崎だったのか。
4つ目は、爆弾が爆発した時、地上から
600mの所で太陽よりも1000℃高い
7000℃もの暑さが起きてものすごく
熱かったということ。この4つの話がすごく
心に残っていて具体的に知れて良かった
と思います。今日の事を(知れたこと)
家族にもくわしく話したいと思いま
す。本日は、ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

話を聞いて、原爆がと“れた”の大変なことなの
かが分かりました。聞いていて1番おどろいたのは、7000℃もあるものが地面から600m
のところにあることです。これは少しは
せんでした。あと、これは知っていましたが、
原爆の後遺症で戦争がおさまっていてもく
るしんでいる人がいることです。高温で
皮膚がただれるのもこわいと思いました。たゞ
けようとして手を取ってやけとて皮膚がただ
れていてかわいいけたりしているのも話を聞
いて印象に残っています。原爆のくるしさは、
実際に体験したことのある人しかつから
ないものがあることに気がつききました。
今度実際に被災地に行って、戦争に
ついてもっとくわしくしたいと思っています。
これからも、戦争は身近なものだと思
い、生活していくたいと思っています。
また、原爆先生の話を聞きました。

時間がある時、



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日はおいそがしいなか、来てくださり

本当にありがとうございました。

広島の原爆の内容は知っていましたが
あまり深くまでは知りませんでした。なので今回
原爆のお話をたくさん聞けてとてもうれしかった

です。そしてエラゲイは知っていたのですが

エラゲイがお母さんの名前だとは知りませんでした
でした。とてもおどろきました。そして熱線あびて

一瞬で消えてあいかたもなくなるのはとても
しうげきこぎでした。そして黒いすみや

骨だけになってしまったのもおどろきました。

熱核泉の温度は7000℃で太陽の表面の

温度は6000℃。熱核泉の温度の方が

7000℃も温度がたかいのもすこくおどろ

きました。今回原爆先生のお話を聞
いてたくさんおどろきがありました。

すごくしうげきこぎなものもありおとく

ためになりました。今日は本当に長

い日寺間ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日はお忙しい中、原爆についてこの貴重なお話をしてくれたさりありがとうございました。私は今回のお話を聞き印象に残った事が二あります。1つ目は原爆を投下する都市についてです。広島・長崎・小倉以外にも横浜、新潟、京都があり、たしか驚きました。また、京都に原爆を投下しなかった理由が文化財などが多いという事と日本人の感情などを考えてという事を聞き、そこまで考えるのなら原子爆弾などと投下しなくて是が、たのではないかと思いました。2つ目は原子爆弾の熱さについてです。太陽が 6000°C なのに対し原子爆弾は 7000°C というて高い温度だ、たとえ事と知り驚きました。当時の人はやけどをあつたり、原爆症でたくさん、てしまったり、言葉では言ひ表せないほど”的痛めが苦しみがあつたと、たとえ事と改めて知る事ができました。この他にもエラゲイの名前の由来や原爆投下の詳しい場所など細かい所まで教える事ができ良かったです。自分でもちろん詳しい事と調べて学んでいました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は、お忙しい中、私たちのために時間を割いて、いただき、ありがとうございました。私は、今日、原爆の話をきいて、原子爆弾の投下には、色々な条件がある事を初めて知りました。また、いくつもの候補が出て、しほうられて、広島、長崎、小倉になり、広島と長崎に、原子爆弾を落としたと言うことに、おどろきました。そして、天候で、どこに落ちるかを、変えたり、原爆投下が無くなったりしていたら、と思うと、運命は、残酷なんだなと思いました。私は、初めて、原爆投下のお話を直接聴き、被爆者の、細かな様子や、周りの環境のことであったり、原爆の投下の時の事だったり、原子爆弾のことを聴き、改めて、原爆の怖さだったり、恐ろしさがわかりました。また、自分でも、調べたり、広島の平和記念公園に行って見たりして、もっとしりたいと思いました。私は原爆を体験していないので、どのような思ひだったかは、わかりませんが、大変だったと言うことはわかるので、原爆のことは忘れないようにしておきます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、お忙しいなか貴重な時間と割って来て下さってありがとうございました。

先日、家族で広島の原爆について少し話して
いて疑問に思うことが多く詳しく知りたいな
と思っていたのでお話を聞いて良かったです。

私は今まで、「福岡の小倉には八幡製鉄所が
あるのに何故、小倉ではなく、長崎に原爆を落
したのか」がすごく疑問に思っていたので
今回の特別授業を聞いて天候の問題だと
初めて知れて良かったです。

そして、今回のお話を聞いて原子爆弾とは、
やはり恐ろしく地上から 600m を離れている
のに 24 万人もの被爆者が亡くなってしまった
のはすごく怖いなと思いました。実際に被
害にあった方の、原爆資料館の熱線や放
射線、衝撃波を浴びてしまった人たちの、飾
られていたモデルが全然ちがうと言っていたので
実際の人々はどうれほど体に被害があったのかな
と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

本日はあいえがい中、原爆の、さちょうな
お話を下さり、谢りながらございました。

私は、今日、特別授業を受けて、本当に
かっこいいものだと感じました。17歳でこんなに、苦しい
体験をしたと考へると、私ではとても考へられま
せん。投下の条件の話を聞いたとき、どれだけ人を
苦しめたか...を感じてしまいました。また、広島に
降下された、原爆の名が母の名前といふのも、考え
させられました。条件の③にあの空襲が投下される日
まで無かったという条件は、何にもその日まで準備は何も
出来ないと考へると、どれだけひきょうでなんだろうと思ひ
ました。最後の義三さんの動画を見て、あの時がどれだけ
辛かったか、辛い風景だったかなどと、もうすこしく伝わ
てきました。池田さんのお話の中に、爆撃機が空を
通る音や、爆弾が爆発した音などの再現が追加され
たりびっくりしたけれど、その場にいるような雰囲気が
味わえました。この話を聞いて、原爆投下など
あつはいけないことを改めて感じられました。

貴重なお話をありがとうございました。



じゅこう 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はテレビなどでしか原子爆弾の事を知ることしかなかつたので、今回新たな発見があり驚きました。広島と長崎以外に原爆の候補があつたこと、原爆が3mと思っていたより短いこと、パラシートが付いていた物が爆弾ではなく、ラジオ・バンデーだったことなど、知らなかったことはかりでした。私が特に驚いたことは2つあって、1つ目は原爆が地面に接触しないで爆発し太陽よりも熱い物が地上の近くまで伝わっていたことです。2つ目は、原爆で亡くなつた人から人中2人ととても多く影しか残らない人もいたということです。火葬しても骨は残るのに、骨もなくなってしまうなんて想像することが怖くなつまうからです。今ニュースなどで放送しているロシアの核爆弾も原爆と同じということを知り、ロシアは日本で起こつた事をどこまで知っているのだろうと不寧になりました。家に帰つたら母や父にも今日のこと伝えたいと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

本日はあいさつの中で、私たちのために特別授業をしてください。ありがとうございます。昔の日本の戦争の時や原爆が投下された時の悲惨さや怖さを改めて知る機会となりました。原爆が投下された時のアメリカのその都市を襲う条件など裏側を知ることができました。広島に投下された時の死亡率や被爆者が多くてびっくりしました。そして当時の大変さや苦しさなどを知ることができました。特に印象に残っているのは、原爆先生から原爆が投下した時の音をその当時のように表していたのが印象に残っています。当時の池田先生のお父様が兵隊により、助けてと言われても助けることができないのにも関わらず精一杯救おうとしているのがとてもかっこいいなと思いました。私も池田先生のように原爆が投下してしまった時のことを忘れずこれから産まれてくる子供たちにも白い伝えたいと思いました。今日は素敵「よこ」講演をありがとうございました。この講演をこれから的生活に役立たせます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回、広島と長崎の原爆のお話を聞いて、原爆の怖さを改めて知ることができました。原子爆弾が落ちた直後だけではなく、しばらく時間が経った後も皮膚が“こげ”たり、こすれたりして痛かったり、後遺症があつたりもするので、一生、または長い時間ずっと苦しいと思うと、とても怖かったです。鳥肌がたちました。また、被災者だけではなく、その被災者を助けに来た義三さんたちも変わりはった土地や被災者を見て、とても苦しい思いをしていました。でもそんな中で、義三さんたちは丸一日 指令をこなしていました。とてもすごいと思いました。また、原子爆弾が落ちてくる時、音もとても怖いと思いました。落ちてきた音はとても大きく、さまでいい音でした。その音を多くの人が間近で聞いていると思うと、とても怖いです。また、原子爆弾の中心部は約100万℃、表面は7000℃と太陽の表面温度よりも高いことを知り、とても驚きました。原子爆弾投下都市の条件や候補になった都市など、初めて知ったことがたくさんありました。今回教えてもらえたこと、義三さんの気持ちなど、とても大切なことは“がりなの”で、忘れず”に心にとどめておきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は貴重な時間ありがとうございました。
原爆について初めて知るものもありました。
実際に池田義三さんが体験している
中で被爆者がものすごい熱さによって、
川の水などがほとんど蒸発していると聞き、
「原爆は人の皮膚を簡単に溶かしてしまう
ものなんだ。」と改めて知りました。また、
「リトルボーイ」は、太陽の6000℃よりも1000℃高
いので、人工的にこの温度を作れるのが
とてもおそろしかったです。しかし、それでも
池田義三さんは、被爆者のために、何かを
直していくので、「やさしい人だな」と思いました。
日本では、「戦争はしない」となっていますが、
今、ウクライナの人たちが、ロシアからのこう
げきによって、たくさんの死者がでているので、
日本だけでなく、他の国のことについて
も知りたいです。広島で自分が実際に体験して
いたら、パニックになって、池田義三さんみたいにはな
れないと思いました。しかし今回の話を聞いて頑張っていきたいくらい



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日はお忙しい中、原爆のお話を下さりありがとうございました。私が今日のお話の中で一番おどろいたのは、途中で核原爆や核兵器のお話をしてくださいました。数年前、小学校で私は池田先生のお話を聞いた経験があります。その時と全く同じ話を聞くのかと思ったら、現在のウクライナとロシアの戦争について役立つ情報を教えて下さい、とてもためになりました。また、義三さんが原爆資料館に行った時、「綺麗すぎる」とおしゃっていた話を一番印象に残っています。原爆資料館にあることがそのまま起こっただけではなく、もっと濃い、ドロドロとした体験をしたんだなと実感できました。そして今日一番感じたのは、太陽よりも高い温度の爆弾を地球にぶつけられたのである人間はとても怖いということです。昔は、太陽よりも高いものはないと思っていましたが、原爆のお話を聞き、原爆の表面温度が太陽の表面温度よりも高いと知っておどろきました。原爆を持つ国が多くなった今、戦争が始まれば地球は滅びることになります。これからもこの原爆のことを伝えていくことが大切だと思いました。